



福井の名所探訪②〇

勝山左義長まつり（勝山市）

2月の最終土曜から日曜の夜半まで続くこのまつりは、300余年の伝統を誇る五穀豊穡と鎮火を祈願する奇祭として有名です。左義長ばやしにのせて市内はお祭りムード一色に包まれ、メインのどんど焼きで盛大なフィナーレを迎えます。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ①最善の医療を平等に受ける権利
- ②選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤十分な説明を受ける権利
- ⑥情報開示を求める権利
- ⑦個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧健康教育を受ける権利
- ⑨個人の尊厳を守る権利
- ⑩宗教的支援を受ける権利
- ⑪退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬通信・面会を自由に行う権利
- ⑭退院や処遇改善の請求を行う権利



すこやか講座

毎年、全国各地で風水害、地震などの
自然災害が発生しています。
今回は、そのような災害時の高齢者の心のケアに
ついてお知らせします。

高齢者の傾向

高齢者には、長年の経験、知恵があり、危機的な場面でもたくましく乗り切れることが多いのは事実ですが、一方、体力、経済力の弱さから、被災によるダメージを受けやすいのも事実です。高齢者といっても様々ですが、一般的には次のような傾向があります。

- ◆身体的な機能が低くなっている為、生活環境の影響を受けやすい。
- ◆加齢に伴う脳の変化により、うつ状態になったり認知症を発症しやすい。
- ◆長年かけて築いてきた生活を失ってしまった人はショックが大きい。
- ◆今後の再建に対して希望的な見通しを持ちにくい。
- ◆家族や若い人たちに迷惑をかけたくないとの思いから、苦痛を訴えないことがある。
- ◆運動不足から廃用性症候群という心身の機能低下を起こすことがある。



うつやせん妄への対処

うつ状態に陥っていても高齢者の場合、あまり抑うつ気分はなく、身体症状、無気力、意欲低下が目立つことが多いです。うつ状態に伴い、記憶力や思考力が低下し、一見すると認知症のようにもみえる‘仮性認知症’という状態になることもあります。むやみに励ますことは避け、孤独感を和らげるように家族がなるべく付き添ったり、昔の楽しかった話をしたりすることが役立つかもしれません。適切な治療により改善しますので医師に相談するとよいでしょう。

急激な生活環境の変化があると、突然幻覚や妄想が出現することがあります。これは‘せん妄’と呼ばれる状態かもしれません。せん妄状態で興奮している人には、声のトーンを落としてゆっくりと話しかけてください。せん妄は数日で改善することが多いですが、治療が可能なため医師に相談してみるとよいでしょう。

認知症の方への対応

生活環境の変化のストレスは、認知症の症状を悪化させたり、認知症とまではいえないレベルだった方が認知症を発症するきっかけになることもあります。震災では、街の景色も一変してしまい、避難所も自宅から遠く離れた場所になっていることも多く、新しいことを覚えるのが苦手な認知症高齢者は混乱しがちです。それには次のような工夫が役に立ちます。

- ◆今いる場所、日時、この後の予定などを伝える。
書くものがあれば、上記のような必要事項を書いて、見えるところに貼っておく。
- ◆避難所の中では、人の出入りの少ないなるべく静かな場所を選ぶ。
- ◆散歩に一緒に出るなど体を動かす機会を作る。
- ◆日中の子供の遊びの見守りや、軽い荷物を運ぶなどの簡単な用事を頼む。



家族は今…

父が認知症になって

Y・M

主人と結婚した時から、主人の父と母とは同居でした。父と母は働き者で、いつも一緒に仲が良く、父が母を車に乗せて病院に行ったり買い物に行ったりしていました。高齢になり父は車の運転をしなくなり、また右眼が緑内障になり手術もしました。2年半前に母が心筋梗塞で倒れ、4日後に亡くなりました。それから徐々に父に変化が現れてきました。もともと緑内障で遠近感が分かりにくい、と言っていましたが、その他にも「部屋にゴミが沢山ある」と言ったり、しばらく(10～30分位)経つと「何もない」「誰かがワシを騙してるんじゃないか」と言われるようになり、それで怒ることもありました。もともとしっかりした父だったので、「何でこんなこと言うんやろう」と戸惑いと、正直腹が立つ思いもしました。また、実際には誰もいないのに「男の人が沢山いる、こんなにたくさん家の中に入れてどうするんや」とか、「子供が泣いている。ご飯を食べさせてやらなあかんやろ」と怒ることもありました。

ケアマネージャーさんから病院受診を勧められ、「すこやかシルバー病院」を受診しました。その時、父は幻覚が見えてるんだと理解しました。それで今までの言動につじつまが合いました。

それから父の言動に、「何か見えているんやな。」と思うと、それなりの対応をするようになりました。そうすると父も随分穏やかになってきました。それでも時々急に怒り出したりしました。利用しているデイサービスの方でも同じ様な事がありました。また睡眠も昼夜逆転して、夜中に動き回ったりお経をあげることもありました。段々と大変になってきて、今は治療で入院させてもらっています。父は「職員の方がガンバレガンバレと一生懸命励ましてくれる。よくしてくれる。」と言います。

私達家族も、父を見るとき大変なことも多いですが、父が笑ったり機嫌が良いと喜びもあります。デイサービスの方でも、父の気分が良いようにとして下さり、皆さんの協力のお陰でやって来れたと思います。これからも、そうしていけたらと思っています。



すこやか探検隊



すこやか祭



10月23日すこやか祭が行われました。前半は近くの清水保育園の園児による元気いっぱいの踊りや歌の発表に、皆さん目尻が下がり、一緒に手拍子をしたり、季節の歌を歌ったりと楽しいひとときを過ごしました。園児とのふれあいタイムでは肩をたたいてもらったり、握手をしたりと優しい雰囲気になまれ、たくさんの元気を分けてもらいました。



後半は長寿のお祝い会を行いました。たくさんの長寿の方のなかから、今年は米寿（88歳）、卒寿（90歳）、百寿祝い（100歳）の10人の方のお祝いを行いました。お祝いの花束は認知症カフェ「心愛」を利用されている皆さんに作ってもらいました。花束のプレゼントに、「ありがとう」と涙ぐまれる方や「仏壇に飾る！」と話してくださるなど大変喜ばれました。

「長寿の秘訣は何ですか？」のインタビューでは「好き嫌いなく食べること」「運動をすること」「のんきに暮らすこと」とアドバイスをもらおうと、皆さんうなずき納得の表情でした。



すこやか祭の行事食 ～おしながき～



とても美味しかったですよ



- ★きのこご飯
- ★お刺身
- ★炊き合わせ
- ★松風焼きあんかけ
- ★焼売の盛り合わせ
- ★柿

デイケアだより

10月 コカリナ演奏会

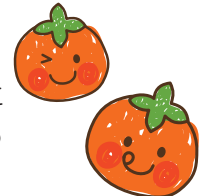
10日(金)、『コカリナアンサンブル・ひがし』から9名の方々にお越しいただき、前年につづき2回目のミニ演奏会を開催しました。

唱歌や懐メロを主に演奏して下さり、コカリナの音色に合わせて利用者さんたちも口ずさんでおられました。最後は、コカリナの音色をじっくり聴く曲目もあり、利用者さんだけでなく、職員もうっとりしてしまいました。



つるし柿作り&いも掘り

今年も送迎スタッフさんから、ご自宅でもれた柿をいただきました。早速女性陣にお願いして、つるし柿を作りました。みなさんの手際が大変良く、大量の柿の皮をあっという間に剥いて下さいました。お天気も良く、美味しいつるし柿になりました☆



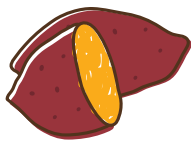
皮を剥いて...



ひもで結んで...



できあがり♡



5月に植えたさつまいも(なると金時、安納芋の2種)の収穫を行ないました。根を張りめぐらせ、思いもよらない場所からさつまいもが出てくることがあり、「こんなところから出てきたぞ〜」と驚きの声も上がりました。さつまいもは、後日利用者さんたちで大学いもに調理して、美味しくいただきました☆



立派なのがとれたの〜!



今年も立派に育ちました☆



12月 ひつじの置物づくり

あっという間に訪れた師走。デイケアでもお正月準備を...と、ひつじの干支にちなんで牛乳パックや和紙で簡単に作れる置物を作りました。同じ手順で作製したのですが、ひつじの表情や柄・角の位置の違いで個性豊かに完成させておられました。ご自宅に飾っていただけるとうれしいです☆



本年もどうぞよろしく
お願いいたします

製作: スタッフS



The 病棟



新人紹介



介護福祉士
平井 友美

私は、患者さんにとって安心できる存在になること、なおかつ常に気持ちを考
えて介護をするように努めています。

患者さんは声掛け一つで表情が和らい
だり、安心されることが見受けられるの
で、積極的にコミュニケーションを取る
ようにしています。また、患者さんの様
子を見て、何時もと違うところがないか
見過ごすことのないように気をつけてい
ます。

これからも頑張りますのでどうぞよろ
しくお願い致します。



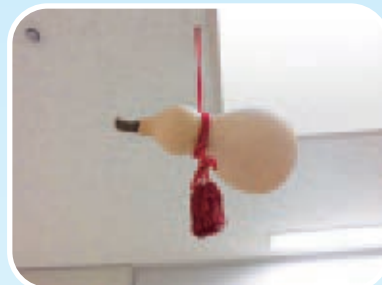
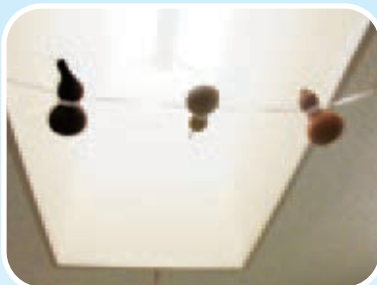
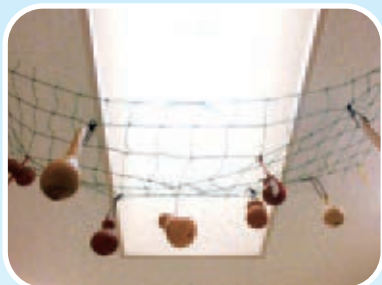
介護福祉士
濱谷 祐三子

こんにちは。西病棟で勤務させて頂いております濱谷祐三子
と申します。

前職は他の福祉施設にて介護福祉士として勤務しておりました
が、認知症専門病院にてもっと勉強させて頂きたいと思い就
職を決意しました。現在、「どのような関わり方が患者さんに
とってより快適か。」また、「どうすればその人らしく過ごすこ
とが出来るのか。」を目標に日々学ばせて頂いておりますと同
時に、患者さんの人生経験の重みや心の深さに触れるたびに、
自分自身も人として成長させて頂いている事を痛感していま
す。今後も、患者さんとの触れ合いを大切にしながら、質の高
い介護が出来る様、勉強していきたいと思っておりますので、宜しく
お願い致します。



不思議な空間★ひょうたん通り



患者さんの御家族より頂いたひょうたんを皆様にも見て頂こうと、
ひょうたんを廊下天井に万遍なく飾り付けました。ひょうたんの作り出す
不思議な世界は見ている人を引き込み、愛らしさを感じさせてくれます。
ひょうたん通りは西病棟内の廊下にて展示していますので、興味がある
方は是非お立ち寄り下さい。



ここあ 心愛日記

早いもので、心愛がオープンして1周年が経ちました！

心愛での利用者様同士、なじみの関係もできあがり、

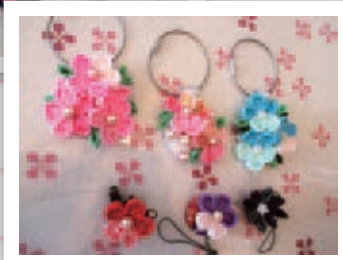
毎週の再会を楽しみに来られています。



ボランティアさんによる
トーンチャイムの演奏会♪



いろんな作品が
できましたよ！
(**_**)



布で作った、
わ・ら・じ！



いつも、アットホームな雰囲気で賑わってます♡



利用者さんと作った
パンケーキ!(^^)!



平成26年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

ケア専門職の方を対象にした研修

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
高齢者への排泄援助とスキンケア	2月27日(金)	午前9時30分～午後0時 (午前9時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケア ● 認知症高齢者への排泄援助の実際	50名
高齢者の世界を体験しよう	3月6日(金)	午前10時00分～午後4時 (午前9時30分から受付)	● 高齢者の特徴と合併症 ● 高齢者疑似体験(演習)	50名
認知症高齢者への作業療法	3月13日(金)	午後1時30分～午後3時 (午後1時から受付)	● 認知症高齢者への作業療法 ● 演習	50名
リアリティオリエンテーションと回想法の実践法	3月20日(金)	午後1時30分～午後4時30分 (午後1時から受付)	● リアリティオリエンテーションと回想法の基礎知識、実例を交えた実践法	50名
せん妄、うつ状態に対するケア	3月27日(金)	午後1時30分～午後4時30分 (午後1時から受付)	● せん妄、うつ状態の特徴、背景、ケア	70名

研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部

Tel (0776) 98-2700



福井県立すこやかシルバー病院主催 講演会のご報告

平成26年11月22日(土)に、福井県生活学習館(ユニー・アイふくい)において、講演会が行われました。講師に、東京大学大学院人文社会系研究科特任准教授 会田薫子先生をお招きし、「認知症終末期患者に対する人工栄養法について考える～食べられなくなったらどうしますか?～」というテーマで講演していただきました。当日は、300名を超える方にお越しいただき、ありがとうございました。

講演では、

- 終末期医療に関する考え方の変化
- 終末期における人工栄養が本人に与える影響
- 人工栄養法に対する決断を行うにあたっての考え方、チームアプローチの必要性等をお話いただきました。アンケートでは、
- 過去胃ろうを選択された例、されなかった例に対し、本当に良い選択だったのか迷っている方が、自分の終末期医療に対する考え方を再確認された
- 本人らしい最期を迎えるために、本人の生き方や言動等をもとにチームで考えることの必要性を学んだ
- 専門職の方でも自分のご家族に人工栄養の選択を迫られ、今も悩んでいる
- 一般の方や、他の医療従事者等にも終末期医療に対する考え方を学んでもらうために、これからもこのような講演をしてほしい 等の意見が多く寄せられました。

アンケートを参考に、今後も研修会、講演会を行っていきたいと思います。

講演会へのご参加、アンケートへのご協力をいただきまして、ありがとうございました。

